

クレーンの合図



運転の合図

クレーン等を用いて荷揚げ等を行う時は、クレーン運転者以外に合図を行う者を指名し、その者の合図に従わなければならない。

クレーン運転者から全て見える範囲での作業時は、玉掛け作業員が合図を兼任する場合もあるが、建物の外から中など、荷受け位置からは合図が見えない場合、両側が見える位置から合図を行うものが単独で必要となる。ただし、専門業者などの場合は、コレを無線で補う場合がある。



合図の統一

ここで使用される合図の種類は、当然統一されていないとクレーン操作を誤る要因となる。

当然、クレーンや玉掛け作業の講習で使用される合図は統一されており、本書でもその合図を記載する。

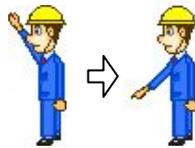
また、合図の種類も然ることながら、指示者も統一されないといけない。つまり、合図者は一人であることが重要である。もし、合図を行うものが複数名いたならば、クレーン運転者はどの合図を頼りに運転（操作）すればよいか混同してしまうからである。よって、作業開始前には必ず合図者を定め、関係者へ周知する事が必要となる。その際には、合図者とクレーン運転者の間で合図の確認を行う事も同様に大事なプロセスといえる。



合図の方法

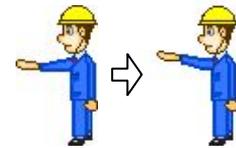
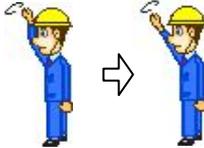
○ 呼出し

片手を高くあげて位置を指し示す



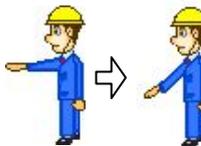
○ 巻き上げ

片手を上にあげて輪を書く 又は 掌を上にして上方に振る



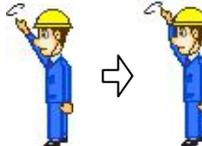
○ 巻き下げ

掌を下にして下方に振る



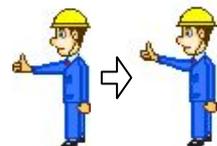
○ 微動

小指で微動を指示し、続きの合図



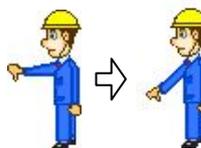
○ ジフ上げ

親指を上にし、水平から突き上げる



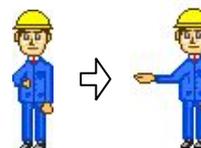
○ ジフ下げ

親指を下にし、水平から突き下げる



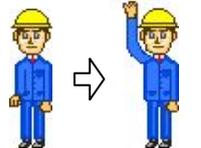
○ 水平移動

水平に伸ばした腕を移動する方向に数回動かす



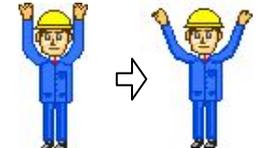
○ 停止

掌を高く上げる



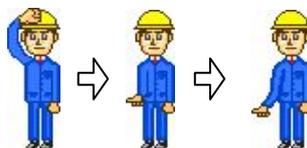
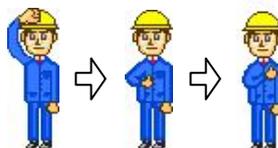
○ 急停止

両手を高く上げ 激しく振る



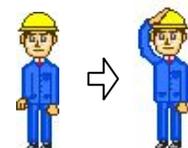
○ ジフの伸ばし(ジフの縮め)

拳を頭の上に乗せ、親指を上(下)にして水平から斜め上(下)に突き上げる(下げる)



○ 作業完了

拳手の礼 又は 両手を頭の上で交差させる



・手による合図の補足説明

1. クレーン運転士から見える位置で運転士の方向を向き、明確な合図を行う。
2. 微速は、運転士に小指で「ゆっくり」という合図を示した後、巻き上げ又は巻き下げの合図を行う。
3. 腕を横に水平にとは、腕を前方ではなく、腕を広げるように横に水平近くまで上げる。
4. 片手をあげて輪を描くとは、手首を回すのではなく、腕で輪を描く。右旋回、左旋回と声を掛ける合図の場合、運転席の運転士の右側を右として指示する。したがって、運転士に向かい合っている合図者がジブを右に旋回させる場合は、運転士に「左旋回」と声を掛ける（合図をする）。



声による合図も覚えておこう

実際の揚重作業では、声による合図も併用される事が多い。玉掛け作業からの声による合図を、距離のある位置からクレーン運転士に伝える場面もしばしば。

そこで、声による合図も覚えておきましょう。

声による合図には、誰にでも分かる「一般用語」によるものと、「専門用語」を用いる場合の2種類が存在します。

指示動作	一般用語		専門用語	
	移動量用語	動作用語	移動量用語	動作用語
巻き上げ	ゆっくり	巻いて	チョイ	(コ) ゴーハイ
巻き下げ		下げて		(コ) スライ
ジブの上げ		起こして		オヤゴーハイ
ジブの下げ	少し	倒して	チョイチョイ	オヤスライ
伸縮	あとOm	伸ばして(縮めて)	あとOm	伸ばし(縮め)
旋回	右へ(左へ)	右(左)旋回して	右(左)	右(左)旋回

ゴーハイの語源は、つり荷を巻き上げる「巻け」の合図を意味する【goahead】から来ている。

スライは「下げ」を意味する【slack away】などが変化したものである。

これらの用語は単独で用いられることもあるが、「オヤスライ、コゴーハイ」のように組み合わせて用いられることも多い。「オヤスライ、コゴーハイ」は、ジブを倒しながら巻き上げ動作を行うという事である。

実は、巻き上げ装置の主巻用フックを「親」、補巻用フックを「子」と言うが、この場合の「オヤ」はジブ動作を指し、「コ」はフックの動作を意味する。従って、ジブを起こしながらの巻き下げ動作は「オヤゴーハイ、コスライ」となる。

揚重作業でのミスは重大な災害に繋がりがやすいから、きっちり覚えてから指示を行いましょう。運転士との事前打合せも大事ですよ。

